NIE実践報告

1．タイトル:気になる･お勧め記事をクラスメイトや保護者に紹介しよう

2．学校名

鹿児島県鹿児島市立吉田北中学校

3．実践者名（代表者名）

教諭　大重　嘉孝　(校長　重水　成夫)

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科(地理的分野)　14人

6．単元（本時の学習課題）名

「気になる･お勧め記事をクラスメイトや保護者に紹介しよう」

7．目標(狙い)

情報網の発達は、わたしたちの生活をどのように変えているのかについて、新聞をとおして考えることができる。

8．評価の視点

自分自身が関心のある情報を新聞から意欲的に探し、自分なりの批評を加えて相手に分かりやすく伝えようとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

大単元名:結びつく世界と日本　主題名:「情報が地域を変える」(大単元時数:8時間　本時:1時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

全1時間
(1)事前活動:前時に新聞を使う授業を実施することを、生徒及び保護者に予告する
(2)本　　時:授業参観の中で実施
＜導入＞学習課題の確認「気になる･お勧め記事をクラスメイトや保護者に紹介しよう」
「NIE」の目的や意義について、簡単に説明する(生徒･保護者)
＜展開＞ア　その日の新聞を一人一部ずつ受け取り、新聞を読む
イ　気になる･お勧め記事の要約と批評をワークシートに記入する
ウ　イについて、生徒･保護者に対して発表する
＜終末＞発表内容についての講評をする。保護者にNIE活動の紹介をする。
(3)事後活動:ワークシートに賞賛･助言等を記載して、生徒に返却する
(4)留 意 点:NIE事務局及び新聞販売店と事前に連絡を取り、新聞の必要部数と配達時間等を確認･調整を済ませておく

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒及び参観する保護者も一人一部ずつ新聞が手元にあることにより、伝えたいことがより明確になった。カラーの写真やグラフをそのまま使うことができたり、書き込んだりできて、大変使いやすかった。

12．成果と課題

一人一部ずつ新聞を手にすることにより、自分のペースでじっくりと記事を読み、考えをまとめることができていたようだ。また、授業参観の中で新聞を活用することにより、保護者に対してもNIE活動を周知する絶好の機会となった。単発的な活動に終わることなく、1か月に1回程度、このような活動を授業の中で取り入れていくように実践していきたい。